

2018年2月19日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
AEON SPECIALIZED BANK (CAMBODIA) PLC.

カンボジアにて現地通貨リエル建 電子マネー（プリペイド）サービスの提供を開始 ～QRコード決済アプリでキャッシュレス化を推進～

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役社長：河原 健次、以下、当社）のカンボジア現地子会社であるAEON SPECIALIZED BANK (CAMBODIA) PLC.（代表取締役社長：安藤 武人、以下、イオンスペシャライズドバンクカンボジア）は、2018年4月下旬を目途に、QRコード決済・送金機能を備えたスマートフォンアプリ「リエルペイ」を導入し、同国にて現地通貨建電子マネー（プリペイド）サービスの提供を開始いたします。

当社は2011年10月にカンボジアに現地法人を設立し、テレビなどの耐久消費財や携帯電話の分割払い、無担保小口ローンを展開してまいりました。2015年10月にはカンボジア国立銀行（中央銀行）より日系企業では初めて専門銀行ライセンスを取得しクレジットカード事業を開始、カンボジアのお客さまの日々の暮らしを豊かにすべく金融サービスの拡充を図ってまいりました。

この度の電子マネー（プリペイド）サービスを開始することで、現金もカードも不要で決済・送金ができる高い利便性を提供し、さらなるお客さまサービスの向上を図ります。また、桁数が多く持ち運びしにくいなどの現地通貨リエルの不便さの解消を目指します。

お客さまは「リエルペイ」を通じて、同国イオンのショッピングモールや公共交通機関をご利用の際に、あらかじめ米ドルやリエルよりチャージされたリエル建電子マネーにて商品のご購入やご利用の代金等を決済いただくことが可能です。この他、本アプリは、チャージされた電子マネーの残高やご利用履歴を確認することができるとともに、本アプリをダウンロードされたお客さまの間で電子マネーを送金いただくことも可能です。イオンスペシャライズドバンクカンボジアはお客さまの利便性向上に向けて、順次ご利用先を拡大してまいります。

カンボジアにおいては、米ドルが広く流通しており、金融政策の観点などから、カンボジア国立銀行はリエル建の値札表記を義務とすることや金融機関に対して2019年末までに融資残高の10%をリエル建融資にするよう通達を出すなど、現地通貨リエルの普及を推進しています。当社およびイオンスペシャライズドバンクカンボジアは、地域の発展を願い、本サービスの推進により、現地通貨の普及にも貢献してまいります。

当社は今後もアジア各国にて、日々の暮らしを豊かにする安全・安心、便利なサービスの拡充を図ってまいります。

以上